

パンスター・ドリーム学生会員乗船会速報

事務局長 池田良穂

3月1日大阪南港発の国際フェリー「パンスター・ドリーム」に乗船して、釜山と往復する乗船会を、学生会員企画として実施しました。往路は23名の乗船、復路は22名の乗船でした。土曜に釜山に到着してホテルで1泊した後、同じ航路を航海する3泊3日のスケジュールでした。釜山でのホテルは各参加者自身で予約してもらいましたが、多くが日系の東横インに宿泊しました。

さて「パンスター・ドリーム」はクルーズゾーンとフェリーゾーンに分かれており、クルーズゾーンのサービスを体験しました。往路の夕食はアワビとエビの入った参鶏湯(サムゲタン)で、復路はステーキ。クルーズ客船に負けないディナーでした。

一般会員では、池田事務局長夫妻、福富会員、松本会員が参加しました。福富会員は学会誌 Cruise & Ferry そしてメールニュースでもお馴染みで、大阪府立大学の船舶工学科の後輩です。各地の船に関するレポートを書いています。大の鉄道ファンでもあります。同じ鉄道ファンの松本会員と列車の話題でも盛り上がっていました。一方、松本会員は、現在、クルーズ客船の区間乗りでの世界一周をされているそう。シドニーまで乗られたとかで、次の乗船を計画中的とのことでした。この「乗り継ぎ世界一周」のお話も楽しみです。

今回の乗船会の詳細については、福富会員がレポートにさせていただける予定です。



大阪南港で出港を待つ「パンスター・ドリーム」



釜山港に入港する釜山～対馬航路の高速旅客船「パンスター・ツシマ・リンク」。



65m 級高速カーフェリー「GBK Express1」。2008 年に豪オースタル・シップで建造され、オマーン政府の Hormuz として稼働。韓国に売却され、釜山～対馬航路に投入するための準備中のようでした。釜山のロッテデパートの屋上からの撮影です。



造船所で Alpha Cruise という船名のカーフェリーが修理中でした。かつて長崎と串木野を結んでいた日立造船製の波浪貫通型高速カーフェリー「シーバード」で、そののち「マダム・バタフライ」と改名し、2007 年には韓国に売却されています。長らく釜山港で係船されていましたが、いよいよ再稼働でしょうか。



往路の参鶏湯のディナーです。



復路のステーキのディナーです。



4人の一般会員参加者でテーブルを囲みました。